

科目	世界史A	単位数	2	学年	2	学級	全	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	---	----	--------------

学習の到達目標	1. 世界の歴史への興味と関心を持ち、主体的に歴史の学習に取り組む態度を養う。 2. 諸地域の歴史に関する基本的事項を把握、理解し、それらの知識を基礎として歴史的思考力を培う。
使用教科書 副教材等	教科書:「世界史A」実教出版 副教材:「グローバルワイド 最新世界史図表」第一学習社

学期	月	学習項目	学習内容の説明
1	4	第Ⅰ部 ユーラシアの諸文明 序章 文明の始まり 第1章 ユーラシア諸文明の特質	人類の出現から、14世紀頃までの歴史の概要を学ぶ。
	5	第1節 西アジア・イスラーム世界	風土、民族、宗教などに着目させながら、ユーラシアを中心に形成された諸地域世界の特質を把握させる。また、諸地域相互の交流に触れ、世界の一体化につながる交流圏の成立に気付かせる。
	6	第2節 ヨーロッパ世界	地中海一帯の地理的特質。ギリシア・ローマ文明に触れ、地中海世界の形成過程を把握させる。
	7	第2章 ユーラシアの交流 第1節 ヨーロッパ商業圏の発展	西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、ヨーロッパの商業圏の発展を把握させる。
2	9	第Ⅱ部 結びつく世界と日本 第3章 一体化に向かう世界 第1節 世界の一体化の第一歩 第2節 ルネサンスと宗教改革 第3節 ヨーロッパの主権国家体制	大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解させる。 西ヨーロッパ社会の膨張の過程でもあるところに大航海時代、ルネサンス、宗教改革は起こり、西ヨーロッパに主権国家が成立していく過程をたどる。
	10	第4章 アジアの繁栄と世界 第1節 世界経済体制の形成	ヨーロッパの植民地争奪と大西洋交易圏の成立過程を理解させる。
	11	第Ⅲ部 近代の欧米と世界の変動	
	12	第5章 19世紀の世界の一体化 第1節 産業革命と工業社会の成立 第2節 アメリカ独立戦争 第3節 フランス革命とナポレオン 第4節 ウィーン体制とその崩壊 第5節 ヨーロッパ国民国家の発展	産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解させる。 欧米の産業資本主義のもたらした国内的影響とアジアなど他世界への影響を見ることで帝国主義の特質を理解させる。

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	学習内容について関心、意欲、真摯に学ぶ態度が見られたかを評価します。
	思考・判断・表現	学習内容についてどれだけ思考し、それに基づいて歴史的に判断したかを評価します。
	資料活用の技能	資料集やプリントを活用して、教科書の内容を深く掘り下げて学ぶ力を身につけます。
	知識・理解	学習内容についてどれだけ知識として身に付け、理解したかを評価します。
	評価方法	各期とも考査の点数、出席状況、提出物、学習への取り組み態度を総合的に判断して評価をつけます。年間を通じての評価は2期の成績の平均とします。
担当教諭から	授業では世界史に興味と関心を持って取り組めることを目標にして1年間の授業を展開したいと思いません。学習項目の順番は前後する場合があります。	